

さらに局署等が連携して

技術開発担当者会議を開催

一〇月二六日(木)・二七日(金)の二日間、四万十署管内及び土佐町において、平成二九年度 技術開発担当者会議を開催しました。

初日は、四万十署管内の「コヒ穴山国有林(四万十町大正)」で開催。先ず、濱本技術普及課長から、林業の技術開発の現状を踏まえ、今後とも、局署等が連携した取組が大切との挨拶を受けて会議に入りました。

会議では、三原森林技術・支援センター所長から、コヒ穴山における「再造林地での効果的なシカの捕獲手法と捕獲後の影響及び捕獲効果の検証」について話されました。

特に、「シカ被害対策として「安価な生分解性防護資材の開発」は、支柱に割竹を使い、生分解性の筒状タイプ(写真上下)で覆う実証試験について、署等担当者から、設置に要する時間等を含め、多くの意見が出されました。今回の会議で出された意見や要望等今後の取組に生かしていきます。

(二日目は、下段左に)



2日目は「下刈省略試験地」での現地検討会に参加

技術開発担当者会議の2日目は、「下刈省略による育林コストの削減」現地検討会に参加しました。場所は高知県試験地(土佐町東石原)で開催。



午前中は、平成22年3月にスギ大苗・普通苗と植栽本数(1500本・3000本/ha)を組み合わせた複数のプロットで、下刈省略試験等を実施した試験地で検討会を行いました。(写真)

午後からの意見交換会には、三原森林技術・支援センター所長が、「異なる下刈回数別に除伐の有無を組み合わせた保育作業の省力化試験」を発表しました。

検討会には、四国四県はもとより、岐阜、島根県等からの自治体や試験機関、民有林、森林組合等からの参加者(70名)とともに、技術開発担当者も、積極的に意見交換等に参加しました。

参加された局署等の皆さまご苦労さまでした。

編集後記

山々の木々が秋の色に、朝夕は上着が必要に。そして、手洗い・うがいを 風邪の予防にも。今年も そんな季節に、毎日の体調に留意。

「四国山の日賞」5団体等受賞

「四国の森づくりin徳島2017」にて

10月21日(土)、徳島市において「四国の森づくりin徳島2017」が開催されました。

この席上にて、「四国山の日賞」の表彰式、受賞者(写真)の発表も行われました。



「四国山の日」は平成16年11月14日、四国四県の知事、並びに四国森林管理局局長が「四国の森づくりに関する共同宣言」を行い、毎年11月

11日を「四国山の日」と制定し、様々な取組を連携して推進しています。

この共同宣言の一環として、今年も募集を行い、四国の森づくり等の取組を積極的に推進している次の団体等を「四国山の日賞」として表彰しました。(木材利用部門への応募は無し)

森林整備部門

- ・徳島県立那賀高校森林クリエイト科(徳島県)
- ・えんとつ山倶楽部(愛媛県)
- ・白木谷ゆめファクトリー(高知県)

森林環境教育部門

- ・かがわの森の寺子屋推進協議会(香川県)
- ・堀田幸生氏(高知県)

受賞された皆さまおめでとうございます。